
文章修行家さんに40の短文描写お題

乙子

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

文章修行家さんに40の短文描写お題

【ノード】

N3365BA

【作者名】

乙子

【あらすじ】

朝尽様の文章修行家さんに40の短文描写お題（http://cistus.blog4.fc2.com/）よりお借りしました。内容は「お題の使い方」を参考に？1題65文字以内の場面描写、？モノローグ抽象性理論の排除、？ストーリー性を入れる、の3点に絞って挑戦したものです。

(前書き)

朝尽様の文章修行家さんに40の短文描写お題（<http://status.blog.fc2.com/>）よりお借りしました。
内容は上記引用元サイトの「お題の使い方」を参考に？1題65文字以内の場面描写、？モノローグ抽象性理論の排除、？ストーリー性を入れる、の3点に絞つて挑戦したものです。

01・告白

幼馴染みの唇が動く。中庭に繁つた緑色の屋根から落ちる木漏れ日が白い顔に落ちて。そして彼はその赤らんだ頬の意味を知る。

02・嘘

少女は微笑んだ。少年は目を見開く。少年の伸ばした腕は届かず、屋上からはなたれた少女は重力と共に現実になる。

03・卒業

掌を離す。三つ編みされた黒い髪に小さく白い顔、黒いセーラー服。誂えたような二つ揃いの少女たちは、右手に桜を、右手に菊を。

04・旅

車窓から見える風景を眺める男は頬杖をつく。油まみれの髪、くたびれた格好、髪。やがてカーブと共に男の体は崩れ落ちた。

05・学ぶ

犬はチャイムと共に涎を垂らす。決して与えられない餌の差し入れ口を小さな黒い目が見つめている。

06・電車

変わらない時間、六時五十九分。変わらない風景、河川敷。変わらない顔触れ、サラリーマン。君を見つけたその日から私は。

07・ペット

指先にじやれる可愛いペット。気紛れにくすぐられて上機嫌で、

気紛れに無視されて拗ねる。まるで私とあなただった。

08・癖

少年はノートに向かい合ひ。一回、二回、ペンが回って、ノックを二回。少女はいつも通り、言い訳に本を開いたまま、横目で眺める。

09・おとな

爪の色を塗る。地味な色の服を着る。ストッキングを履く。朝早く出かける姉はいつしか少女の姉ではなくなっていた。

10・食事

ナイフとフォークを構えるあなたと、箸でつづくわたしと、スプーンを振り回す君と過ごすひととき。

11・本

子供の広げた世界を横から覗き見る。笑って泣いて怒って笑う。老人は微笑んでペンを執る。

12・夢

怖かつたと布団にもぐりこんだあの時の写真を眺めて、立派になつたねと呟く病床の祖母。叶うまで、待っていてよと笑う父の目の涙。

13・女と女

わんわんと泣く少女の肩を抱いてもらい泣きする少女の傍らで、男を挟んで微笑みあうキャリアウーマン達。を眺めて、キスする私たち。

しまつてあつた箱。少女はそれを振つてみる。眺めていた少年は笑つて囁く。君の机の中のものの返信です。少女は箱を取り落した。

15・信仰

その丸焦げの死体の内側で小さな死体は眠つていた。崩れ落ちる父親と泣き叫ぶ少年と赤を纏う家と。炎は空へ黒い煙を送り続けた。

16・遊び

公園で追いかけあう子供達を眺めて、男たちは目を合わせ頷く。上着を脱いで、肩を回して。そして公園に響くのはかつての子どもたちの声。

17・初体験

アドレスは消えた。保存をかけていたメールも消えた。少女は微笑んでボタンを押した。『ごめんな』。メールを消した。

18・仕事

教会の片隅に立つ少年とステンドグラスの前の白い服を着た男女。不思議そうな幼子に唇の前へ指を立てた少年の背中には、翼が揺らめぐ。

19・化粧

並べられた小瓶を眺める子ども達。年老いた女は小さく笑つてその唇に紅を塗る。いつかの女と女の、変わらない一幕。

20・怒り

笑顔の彼女を見て、青年は考える。視線は右へ左へ。24の室内で頬を伝う滴。彼女は笑顔のままで腕を組み、口を開いた。

21・神祕

女は赤子の顔を眺める。低い鼻。太い眉。くせ毛にへの字の唇。似ている部分を上げて女は笑う。女とは似ていなければ瞬いた。

22. 嘲

好きな人はいないのかと友人に覗き込まれた。背が高くて口の悪い女。教室の端でくしゃみをする彼女を見て口を噤んだ。

23. 彼と彼女

お似合いだねと友人は言った。くしゃりとした顔を眺めて、頷いた。お似合いだね、そういつた私の声は酷く震えていた。

24. 悲しみ

うわあんと泣く友人の声が誰もいない教室に響く。彼らは半笑いでその肩を叩いた。大丈夫だよ。泣くなつて。女なんて他にもいるから。

25. 生

子供は橋の下で箱に詰められていた。汚かった。臭かつたし、手足が枝のようだった。姉はそう言って僕の頭を撫でる。だから貰つちゃつた。

26. 死

彼岸花の咲くあぜ道をゆく。黒ずくめの列の最後尾、親に手を引かれる子どもはふと振り返る。住む人のいなくなつた家は夕闇に佇んでいた。

27. 芝居

ネオンの光を浴びて道をゆく。客を見定める黒服の男たち。連れ立つ美しい女たち。楽しげな笑い声。今日も一夜限りの恋愛劇を繰

り返す。

28・体

手をつなぐ。少年は嘯いた。おんなは柔らかくていい匂いがする。少女は嘯いた。おとこは熱くてそう簡単には壊れない。唇を重ねる。

29・感謝

写真の中の初老の男は厳めしい顔をしていた。夏の日差しが和室に濃い影を落とす。額を置に付けたまま、青年は暫く動かなかつた。

30・イベント

女は鏡の中の自分を睨みつける。長い髪を巻いて高いドレスを纏つて、人に施された化粧をした顔。白に包まれた自分を睨み、女は笑つた。

31・やわらかさ

粉だらけの手で奮戦する子どもは怒鳴る。ねえ、まだ? テレビを眺めるふりで母親は答える。耳たぶくらいになるまでです。頑張つて。

32・痛み

全身傷だらけの男の腕の中で子どもが泣く。寸前で止まつた車から飛び出してきた運転手の泡を食つた顔に男は呻いた。マジでいてえ。

33・好き

少女のメモ。『サッカー、チエス、推理小説、山登り、ウナギ、マックポテト、コーヒーはブラック』。少年の追記。『君』

34・今昔

いまむかし

大きな木を眺めて顔を見合させる。六人は、老けた顔に互いに笑いあう。そして取り出されたのは古ぼけた手書きの地図とスコップ。

35・渴き

傷だらけの少年は、差し出された女の手を眺める。仏頂面の女は少年の手を奪うように取ると早足に歩き始めた。少年は手に力を込めた。

36・浪漫

教師は没収物を眺めた。ゲーム機、音楽プレイヤー、漫画雑誌、携帯電話。そしてグラビア。十年前、取り上げたものを思い出して少し笑った。

37・季節

この国には君の国のように四季はないと男は呟いた。広大な砂の海を眺めて女は笑った。私、夏が好きなの知らなかつたの。

38・別れ

手を振つて、二人は違つ道を進む。橙に染まつた家路をたどりながら帰る影に、ぽたぽたと雲が滲む。アスファルトの染みはすぐ消えた。

39・欲

暗い部屋に聞こえる粘着音が混じつた水音と、匂い。湿っぽい暑さとベットの軋みと蠢く影。必死に腰を振つて唇を求める。

40・贈り物

彼らは言つ。ぐつと大きくなつた目がうつりうつり彷徨い、引き結んだ口元が綻び、くしゃっと皺の寄つた顔が、綻ぶ瞬間のため存在していると。

00・お知り前とサイト名をどうぞ。また、よろしければなにか
一言。

小説投稿サイト「小説家になろう」にてHN・N子で投稿してい
ます。

制約・田標共に非常に難しい内容でした。力不足を否めない結果
となりましたが勉強になりました。

(後書き)

挑戦結果、達成状況…？達成、？未達成、？未達成となりました。
このお題使用にあたって朝尽様に深く感謝申し上げます。
また、お題引用に何らかの問題がございましたら是非ご指摘お願
いいたします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3365ba/>

文章修行家さんに40の短文描写お題

2012年1月8日20時49分発行